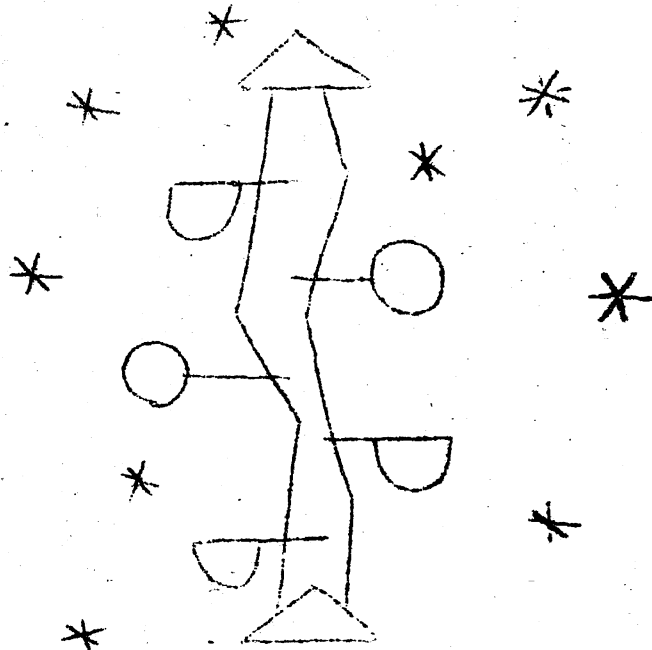


977

春山&ゴールデンウィーク山行報告



その

① 屏風～前木～西木 3/3～3/9

② 黒沢北稜～鹿島北陸主稜 4/28～5/

信州大学山岳会伊那松本山岳部

書籍

書

*

書籍
A-111

書籍

その2

・屏風岩東空懸掛(作談者) ~ 前木 ~ 奥木 ~ 面木

・52.9.9 ~ 9.9 人 吉田秀樹(14-A) 山本章(E2-Ⅱ)

・行動

3日 ①/② 松本 ~ 新島 ~ 沢渡(9:00発) - 上高地(17:20)

スキーが使えるのでリフトとスキーを使用。甘けえ、2手向かかる。ひ、ぼ、
たり手に持、たり、結局より1時間かかる。E。木村小屋で入山届。横尾の
方へ月二の10日程人のぼり、2台11由。バスターミナルでとまる。

4日 ①/② C(6:50) - 明神橋(7:50) - 横尾小屋(10:00頃)

迷、Eが広くスキーが下手。明神の手前より河原。2-3日前にふった雨と
寒さのためがクラストバ、干り。夢より作きやす。T4尾根車庫まで偵
察に行く。さすがに迫力がある。特に東壁ルンゼはT3山下夏目である。
1時間半程で戻す。今夜夕方よりしきりに雪が降り出す。今夜は後から果
た2Pと一緒。1Pは東壁ルンゼ 1Pは聖稜 ~ 滝谷の1P干コゴ組。

5日 ② C(5:20) - T4尾根車庫(11:05) - T4(4:00-4:25) - 大テラス(14:30)

T4尾根で重なるので30分程待、それから出発。結局先行まででもらう。1
P。干たHはカ雪のつていて11やらしい。荷物下し、てきEのE1降
くやむ。T4まではコにて11く。(図参照)。大テラス着。時計が止ま
って11と正確な時間かゆから11。他の不安もあり今日月二にまでとする。
大きくけりリツ=ルトを完全に張る。中に入ると11とキと変わらな11。

6日 ①/② 夜 ② C(6:50) - 夢の終稜(12:50) - 終了(14:25) - C(15:10)

(図参照) ②。E。晴れで負持ちが良。ルンゼの雪崩が雪化むりとなり、てこ
ちから流れてくる。キラキラして青い空によく見える。夢の終了点より2
セキで終了。1P。干目か11ゆら11。少し先のコルにカルトを張る。

7日 ① C(11:55) - 頭 - 八峰(11:25) - 5-6コル(13:50) - 3-4川(15:50)

終T4からあ、Eトリスも夜の雪を消える。非常にしんどい。屏風の耳で減
えたので昨日の稜種pがいて。結局4名が適当にう、セルを交替して追木

3-4のゴルテ-1-ガイルであ、Fが6峰の登りは雪壁と石り寒まり、
やさしく、F。今日は雪有とまり。夜は雪が非常にすく、寒きこみ。
体中がめいこし。やけきて入口を中から埋めてぬる。

8日 O/D C(8:05)-前木(9:20)-奥木(11:25)-天狗コル(13:05)
-西木(14:55)-西木山荘(16:10)

体中がたると。昨日の続きを歩いた。3峰の登りでガ
イル2枚を使用。アトは1枚。奥木からはトーストあり下すか
る。昨日まではセーター、ケを着て二人でウラセルに手もけか
なかつたが、今日は春山らしく、乙暑。三ヶ峠の口
(→雪の谷)
ハの事は新しい手、カ、はり、あ、てあ、F。

9日 O/D 後② C(6:55)-バスク-ミル(9:25)-沢渡(15:00)
(予報の対一回報)
-松本

終えEという安心感よりも、スキーをやっており、力にはほら
たという長存の方が強い。バス停についた時に日本当に木、と
しF。

(原-F事)

はじめの積雪期の岩登りらしい岩登り、いろいろ勉強になりました。
た。微妙なテクニクと言うより体力がものをいうと、減じてあ
った。天候に左右されたい屏風岩、ハーケンベリ屏風岩、E
ほどきニE(週間分のESSENE)して西木まで行けた事、うれ
しかった(バタバタした)。今度は又白、急谷の岩にも手を触れ
てみると思います。

最後のページに続く。

その2.

・鹿島尾根(茨城)北稜～北稜主稜継続.

・52.4.28～5.1

・L. 吉田秀樹(M4-IV) 師田信入(M4-IV) 片山博彦(A3-III)

・行跡

28日 ① 松本五木町＝鹿島一(●荒沢) 荒沢尾根末端

飯牛から強風。明日晴れれば順調に登れると思ひ雨の中出発。荒沢は出発より少し先で簡単な高まりを越し後は雪のつま、下坂どうしに(1)く。天狗オネケズ、三。ほとんどプロクモおちて二反り。雨もやまないので荒沢尾根末端付近でツェルトをほる。②ピ、ショリとぬける。

29日 ①/② C(5:30)～取付(6:30～6:50)～終了点小倉岩(14:25)

天気はおもしろく反りが出た。M岩峰で左にまく2セ、干す非常に(1)やらしかった。ここまではあまり雪がつかって(1)反り(1)かこより堅い雪があらわれ下雪も降り出す。12セ、干す7時向35分でお倉岩へ出る。風雪でもよりこにツェルトをほった。〈木下ーT師田-吉田-片山〉

30日 〇 C(5:25)～主稜取付(9:00)～終了(15:35) (鹿島尾根) 西俣(19:05)

昨日までがまん(1)下(1)かあり(1)登(1)もド、晴れの日に登る事ができる。取付までトラブル(1)と(1)下(1)が。昨日降った雪が堅雪の上に乗って(1)非(1)に(1)や(1)ら(1)し(1)く(1)時(1)間(1)が(1)か(1)か(1)った。(1)国(1)参(1)照(1) 11セ、干す6時向35分。雪はかたく(1)本(1)風(1)が(1)ま(1)く(1)効(1)いた。ド、晴れ、それに(1)す(1)け(1)を(1)着(1)て(1)いる(1)の(1)に(1)体(1)で(1)と(1)寒(1)い(1)く(1)ら(1)い(1)である。プロク、クは(1)も(1)落(1)ち(1)た。天狗尾根を下降する予定(1)を(1)た(1)り(1)で(1)予(1)想(1)以上(1)に(1)雪(1)が(1)た(1)く(1)お(1)ま(1)し(1)る(1)く(1)ら(1)う(1)石(1)の(1)下(1)敷(1)オ(1)ネ(1)の(1)次(1)を(1)1(1)段(1)に(1)下(1)る。晴(1)る(1)頃(1)西(1)俣(1)出(1)合(1)に。今(1)日(1)は(1)雪(1)が(1)た(1)り(1)少(1)い。 〈木下ーT吉田-師田-片山〉

31日 〇 C(大谷原)＝木下＝松本

晴れ(1)は(1)11(1)時(1)び(1)の(1)ん(1)び(1)り(1)と(1)下(1)山。大谷原で下(1)から(1)上(1)り(1)て(1)き(1)て(1)ク(1)シ(1)に(1)1500(1)円(1)で(1)11(1)時(1)も(1)ら(1)う。また下(1)山(1)客(1)は(1)少(1)い(1)の(1)で(1)安(1)く(1)11(1)時(1)も(1)ら(1)う。

感じた事)

雪が有りか下には厚いアイスにマーガが有り有知である。フロックもあゆみ条件は良か下である。中央ルンゼの傾度が迫力がある。昨年の五月北壁を悪天の為登れなかったが二つ戻りて ~~登った~~ ~~まで~~ 達した。

〈荒木奥壁北稜〉
核心区

2p 4p 5p
ガブリエル
でいいらしい
残置ハーネホルト
あり

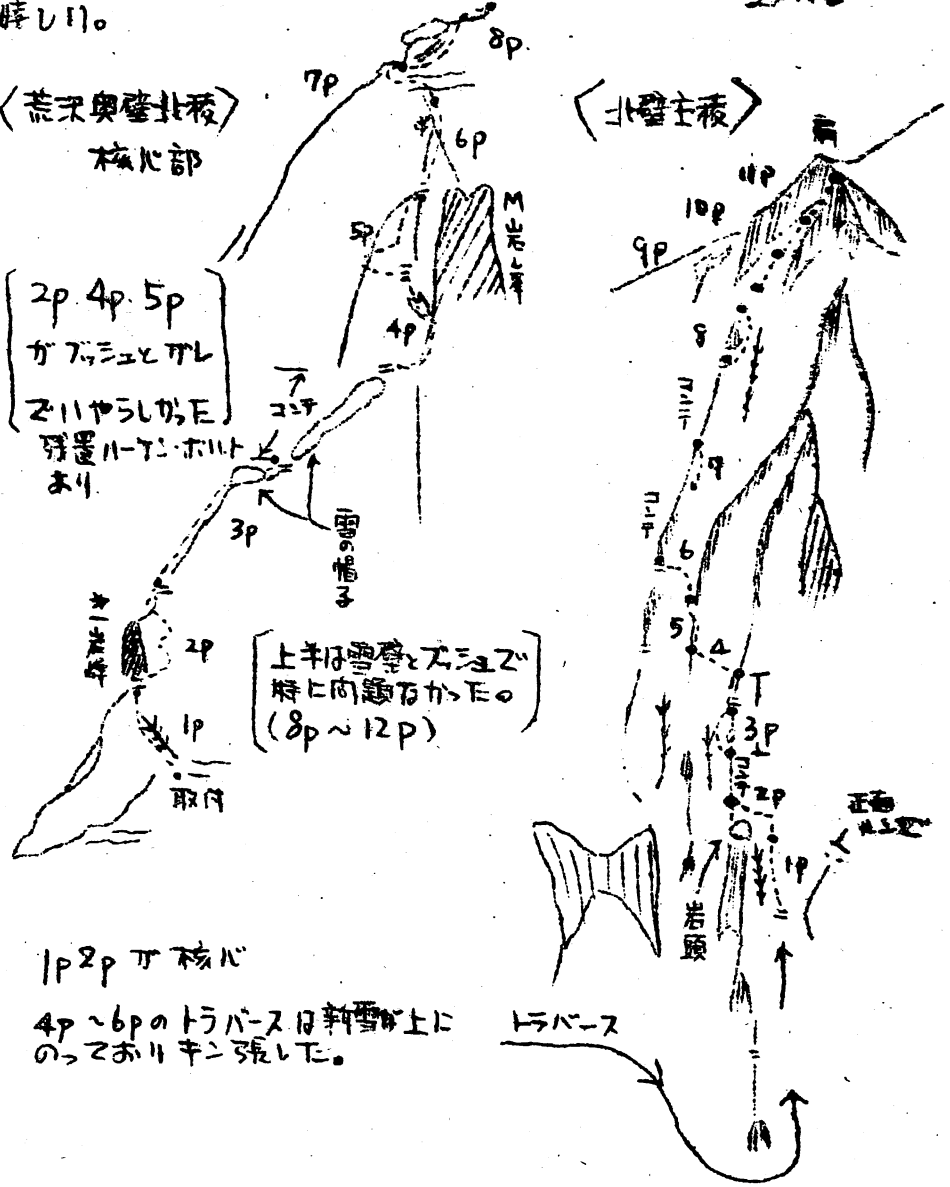
上は急峻と大注で
特に問題がある
(8p~12p)

〈北壁主稜〉

1p 2p が核心

4p~6pのトラバースは新雪の上に
なのでありキニ張った。

トラバース



屏風岩について。(ツツキ)

- 1p. 夏のT4展覧の200.子目より一面雪がからずポールドに上がる。上半は
アブミ使用した。TOP吉田 (T.1h25m S.30m) <Z40m>
(T4までコンテ。1ヶ所スタートで行きたい所あった)
- 2p. 蒼稜ルートに入る。TOP山本。空身。蒼稜。蒼稜とバカにして11E
セルカ。TOPは右上バントで Secondは雪の上のポールド周囲の穴
まきに苦勞させらる。 (T.1h25m S.1h) <Z40m>
- 3p. 大テラスまで四角～雪壁。四角の出口でアブミ使用。
TOP吉田 <Z20m>
- 4p. 4～7pとアブミはあして登る。TOP山本 両者空身 <Z35m>
(T45m S.30m)
- 5p. とに3とに311-たかうまで113以外裏と同じ
TOP山本 <Z15m>
- 6p. 裏と同じ。 TOP吉田 <Z35m>
- 7p. 岩場をぬける所でフリーで114す。セルカの先にアブミをアブミを
アブミと上のポールドにひき越す。夏の終了点 TOP山本 <Z40m>
- 8p. 雪の11やらしい草付をアイゼン付けて登る。木や大石があるから
手戸楽だ。確保者はTOPカホと雪でかきわける。TOP吉田 <Z40m>
- 9p. 5m時先より雪の斜面にて(●) 雪積の終了点の上に出て終了
TOP山本 <Z40m>

以上でした。

S52.7.9 発行
非売品
160部 限定

